

労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2020年12月26日発行

No. 572号 (第52期 4号)

〒454-0055

名古屋市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

各会合同清掃登山 報告

秋の海上の森清掃ハイク あつた、くらら、若駒の3会合同で実施



第16回目となる今回の清掃ハイクはコロナ禍を配慮し一般参加の募集中止・山岳会からも自然保護部員のみでの参加と制限を設けて執り行われた。

当日は晴天の下、海上の森センターにて開会式(主催者・共催者挨拶、諸注意説明、ストレッチ体操)をして予定時間より10分早くスタート。スズメ蜂に注意が必要と蜂用殺虫スプレーを各班持参しコースを進むが蜂に遭遇することはなく一安心。(次頁につづく)

《目次》	各会合同清掃登山 報告	1
	全国登山学校交流会に参加して	2
	理事会報告 第10回、第11回	2
	第6回 労山基金 全国会議 報告	6
遭対部	12月11日(金)第52期第4回遭対担当者会議の報告	7
	積雪期救助訓練のお知らせ	7
教育部	第52期雪山安全講習会が終わりました	8
	大日ヶ岳交流山行について	9
組織部	第6回 組織担当者会議 報告	9
	一般登山講座受講生との交流山行の報告	10
女性部	女性部便り	11
	訃報 自然保護部長田中恵氏	11
	カレンダー	12

(表紙からのつづき) ゴミ回収については、山道に目立ったゴミは少ないものの、山道脇に注意をはらえばカン・ビンなどのゴミが所々に見られた。山道に落ちているゴミは少なかったが林道脇には古いゴミがあり、各メンバーのゴミ袋は、ほぼいっぱいな状態であった。

帰路では清掃ハイクのご褒美と言わんばかりの黄色に染まる紅葉を楽しむ事ができた。

【コースについて】 3コースに分かれて実施した。

【参加状況】 あつた勤労者山岳会 9名、若駒山岳会 8名、山の会「くらら」 13名
海上の森センター関係者 4名 合計 34名

【ゴミ回収状況】 22.7 kg (可燃ごみ 10 kg / 不燃ごみ 12.7 kg)

全国登山学校交流会に参加して

11月7日～8日 御在所岳裏道途中の日向小屋において開催されました。

参加者は全国連盟7名、10地方連盟24名の合計31名でした。

愛知県連からは佐藤理事長が、初日の挨拶に訪れ、森(東三河)、清水(あつた)が両日、岩田(じねんじょ)が2日目のみの合計4名の参加でした。

初日はあいにくの雨となり、予定していた、岩場でのビレー・懸垂下降等の確認・情報交換は午後に回し、小屋内で、各都府県連の「登山学校」の報告・問題点の提起が行われました。ただ、今期は各連盟ともコロナ禍の影響で開催しておらず、過去の実績の報告と今後の開催に向けて新型コロナの状況、「主催者賠償保険」のことも含めた懸念が表されました。

午後は小屋の少し上流の七の渡しの岩場で、アンカーセットとビレー、懸垂下降のやり方のデモと意見交換と講評が行われました。

小屋に戻り、食事までの間午前中の打ち合わせの続きと「総合登山ハンドブック」の訳者の大和田英子さんの紹介があり、食後、交流会後この日は就寝。

2日目は、愛知県連は2パーティーに分かれ、神奈川・岡山県連と兵庫県連のパーティーとともに一の壁等を登り14時に日向小屋にて集合し、解散となりました。

全体として、今後の課題等に関しては不透明な部分が多かったですが、他県連との交流などを通し、愛知県連の今後の登山学校の在り方などを考えるきっかけにはなりました。今後の活動に生かしていきたいと思っています。 会長 森 和之(記)



第52期 第10回理事会報告

2020年11月19日(木) 19時30分～21時30分

出席者：■森(東三河) □佐藤・□田中(あつた) ■井土(東海) □榊原(ありんこ)
□河村(春日井) □廣田・□吉川・■樋口(同志会)・□森本(半田F) ■井川・
■中根(ふわく) □日高(スルジェ) □安江(ASC) □西尾・□吉田(くらら)
□山本(みどり) □東田(犬山マップ) □佐伯(かわせみ) □森(じねんじょ)
(アリス) (ちんぐるま) (親子) (低い山) (山歩会) (若駒) ■は欠席者
司会=榊原 議事録=廣田

1. 報告事項

理事長——・全国連盟創立 60 周年レセプション（吉川報告）：記念講演に約 140 人参加。レセプションは約 100 人出席。諸団体からの挨拶があり、盛大だった。

事務局——

- 1) 労山愛知 第 571 号——11 月 19 日（木）発行予定。
 - ・発行日、日付の件。WEB 配信がメインとなっているので、編集終了から発行までを短くできています。この為発行日は理事会開催の日とします。
 - ・572 号は 12 月 19 日原稿の締め切り。編集内容は一覧表を作成し理事会にて確認しています。
 - ・代表者会議の記録掲載用は別冊とする。また、連盟内部の記録なので HP には掲載しないこととします。
- 2) 各規程(案)の小委員会——メンバー検討中。12 月 3 日理事会に提案します。
- 3) ごみ搬出、トイレチェック——今回、ごみは山本さんが手を挙げていただいた。
- 4) 来期総会の会場探し——調査報告と予約⇒12 月 3 日までにあたる。①犬山
②尾西を候補とし、国際会議場は確認する。
- 5) 安全対策費申請書類。確保技術講習会の会計資料を 11/25 までに取り揃える。
- 6) 総会までの懸案事項、——12 月 26 日まで、
 - ・各専門部の役割整理——審議事項。各部から 12 月 3 日以前に事務局へ送ること。事務局長から、「各専門部の役割と各会との関係を踏まえた活動を見据えて欲しい。各専門部と行事の狙いがわかるようにしてほしい」との要請あり。11 月 26 日まで。
- 7) 規定等(案)の配布——第 9 回理事会、——意見、質問、特になし。
小委員会でもんでいく。

全国連盟——基金担当者会議への質疑事項を事務局より提示した。

財政—— 年内に仮締め。1 月 7 日理事会に提出。登山学校交流集会や、行事未実施で予定のあるものは 1 月 7 日までに概算で数字を出して欲しい。

自然保護部—— 11 月 5 日(木)報告

- ・各会合同清掃登山：11 月 8 日—犬山マップ 21 人（会員 20 ・一般 1）26.7 kg 回収
 - 11 月 15 日—くらら・若駒・あつた 32 人、回収量は未報告。海上の森
 - 11 月—ふわく 7 コースで実施予定。
 - ・全国自然保護集会：（山歩会）渡辺、（同志会）吉川 2 名 参加
- 大蔵喜福氏の氷河の後退について講演。竹本氏のリニア工事と大井川の水問題について報告があった。

女性部——11 月 5 日(木)報告：2 山岳会 2 名参加。川嶋事務局長講演は来期に持ち越すか検討、12 月部会で再検討することになった。

教育部——10 月 22 日(木)報告、

- 11 月 12 日(木)担当者会議：2 名参加。
- 雪山安全講習会は 10/26 5 人、11/9 14 人、11/16 7 人参加。12/3 会計報告予定。
- 登山学校交流会、報告：11/7 は雨。日向小屋にて。午後から熊岩（七の渡付近）で確保技術訓練。11/8 前尾根登攀など。

遭難対策部——全国労山基金担当者会議報告

- 東海ブロック雪崩講習は中止。スキルアップのためコーチクラスの研修を近畿ブロックと合同で 1 月 15 日予定。ビーコンチェッカーを購入した。
- ・冬合宿連絡会議を実施するか、中止するか判断は 12 月 3 日までに行う。
- ・事故報告 No.3 伊木山。詳細は下記。

組織部——組織担当者会議 11 月 12 日(木)

- ・会議日程変更——11 月 12 日(木)、12 月 10 日(木)、1 月 28 日(木)
- ・交流山行 11 月 14 日（日）納古山：山岳会（ありんこ 1）受講生 2 名 計 3 名。

- 11月21日養老山 山岳会(あつた2・犬山1) 受講生2名 計5名。
- ・一般登山講座アンケート集計——後日送る予定。
一般登山講座は新型コロナ感染拡大の為、募集はまだかけない。実施要項は担当者会議に提示されている。従来は3か月の募集期間があったが、今回は様子見・保留とする。
 - ・各会代表者交流会、11月28日(土)——別紙
報告者 犬山・岡さん、山の会くらら・吉田会長の予定。確認状況。
 - ・HPの管理担当移管を進める。「労山愛知」井土さん担当。「労山愛知」のアップは井土理事、各会記載事項の変更は東田理事の担当とする。
 - ・県連FBの扱い：現在、県連の管理下にない。PW・アカウント不明。

その他——来期役員の意向調査実施。担当：理事長。

2.懸案・審議 事項——

1)代表者会議の報告(記録)

2)各専門部の活動についての共通する基本的方針を検討中です。

①各会がそれぞれの分野(遭対・教育・組織・自然保護・女性)で自主的・主体的に活動しその会での各分野での力量を発展させていくことが基本。

②県連盟各専門部は各分野でのレベルアップ、問題の解決できるようアドバイス、助言、指導できるよう力量と、経験の蓄積を持つことが最も重要。

③各専門部の各行事、取組みの前記①②を前提として、各会の力量、活動内容がどう前進・レベルアップつながるかどうかを基準にして、PDCAを回していくことが大切。(PDCAとは、プラン、実践、チェック、改善をいう。)

3. その他、

事故報告：No.3

11月15日(日)8時。事故発生場所は伊木山。4人でトップロープを掛けに行く途中、道を誤って薄い踏み跡に入り、行き止まりを引き返すためトラバース中、1人が滑落。2回ほど回転しながら滑り落ちた。尻の痛みを訴えたので、119番通報した。30分ほどで消防レスキューと岐阜県ドクターヘリによる現場での救急処置、救急搬送、救急処置を受け、岐阜総合医療センターに搬送入院。(仙骨骨折、脊髄胸骨骨折。6日間の入院治療)

11月16日、当該会で対策会議を実施した。

第52期 第11回理事会報告

2020年12月 3日(木)19時30分～21時30分

出席者：■森(東三河)□佐藤・■田中(あつた)、■井土(東海) ■榊原(ありんこ)、
□河村(春日井)□廣田・□吉川・□樋口(同志会)・□森本(半田F)、□井川・□中根
(ふわく)、□日高(スルジェ)、■安江(ASC) ■西尾・□吉田(くらら)、
□山本(みどり)、□東田(犬山マップ)、□佐伯(かわせみ)、■森(じねんじょ)、
(アリス)(ちんぐるま)(親子)(低い山)(山歩会)(若駒) ■は欠席連絡者
司会=廣田 議事録=山本

1. 報告事項、——

理事長——全国連盟評議員会日程2月20日(土)21日(日)

事務局——1)労山愛知 第572号——12月18日(金)原稿締め切り、21日(火)発送予定。
来期の登山学校の募集要項の掲載予定。

2)総会に向けての各規程(案)の小委員会——委員を次の提案し了承された。

(スルジェ)岩田(ふわく)馬場(春日井)小嶋(犬山マップ)小鍛冶(同士会)吉川

- 1 2月28日(月)14:00委員会予定。
- 3) 来期総会の予約状況——犬山フロイデ、2月28日(日)予約済。
グリーンパレス春日井12月10日抽選、3月7日(日)11日抽選結果をメール報告
11日に取れたことが報告された。
尾西公民館講堂、2ヶ月前申込(3月7日)
会場が持ち出しとなる為、県連事務所で出来ない(印刷等)の準備
労山カレンダー100部完売した。
- 4) 安全対策費申請書類送付済。——申請15万円入金した。
- 5) 総会までの懸案事項、——12月26日まで、
各専門部の役割整理——審議事項。

全国連盟——組織数報告11月末

基金担当者会議の内容を12月26日の理事会にて報告

財政——12月末仮締め、1月7日理事会に報告、各部、未払い金請求すること。

自然保護部——部長欠席にて報告無し、12月9日(水)部会開催予定。

女性部——次回12月10日(木)部会予定、安全講習は来期に予定する。

教育部——10月22日(木)報告、11月12日(木)部長欠席報告無し。

第52期雪山安全講習会参加状況報告 6山岳会机上4日間合計参加者30名
紙面にて会計報告 収入15000円—支出35500円=23500円赤字
受講生のアンケート報告

講習者の実技希望者無しの為実技は中止、講習会は11月30日で終了。

遭難対策部——12月11日冬山合宿遭対連絡会の予定を通常の担当者会議に変更する。

冬山合宿予定山岳会は現時点でありんこの1山岳会——後に中止。

積雪救助訓練を来期行うのか12月11日の担当者会議で提案予定。

遭対グッズでビーコンチェッカーにてお持ちのビーコンの周波数が合っている
のかのチェックを担当者の方に来てもらい調べてもらうが、日程は未定。

組織部——組織担当者会議 次回12月10日(木)予定、会議日程変更——1月28日(木)

交流山行 11月14日(日)納古山 山岳会 (ありんこ1)受講生2名 計3名。

11月21日(日)養老山 山岳会(あつた2 犬山1)2山岳会 受講生1名 計4名。

一般登山講座アンケート集計——別紙⇒後日送る予定

各会代表者交流会、11月28日(土)——理事・役員7名、代表等7山岳会7名

報告者 犬山マップ岡、山の会くらら吉田会長。一定の交流ができた。——今後。

HPの管理状況——東田理事と2名体制となります。

県連盟フェイスブックの扱い。——管理者、アカウントなど確認する。

12月26日土曜日の理事会は午前9:00時から開催

2. 懸案・審議 事項——

1) 代表者会議の報告(記録)

2) 各専門部の活動についての基本的方針

- ①各会がそれぞれの分野(遭対・教育・組織・自然保護・女性)で自主的・主体的に活動しその会での各分野での力量を発展させていくことが基本。
- ②県連盟各専門部は各分野でのレベルアップ、問題の解決できるようアドバイス、助言、指導できるよう力量と、経験の蓄積を持つことが最も重要。
- ③各専門部の各行事、取組みの前記①②を前提として、各会の力量、活動内容がどう前進・レベルアップつながるかどうかを基準にして、PDCAを回していくことが大切。(PDCAとは、プラン、実践、チェック、改善をいう。)

3. その他、

- 1) 教育部の活動(第45回定期総会・2013年3月3日)——より引用。参考にされたい。

「教育部の活動として、どのような会員教育をおこなっていくことが求められていることを明らかにし、それぞれの山岳会の経験や教訓を交流しながら、会員を育て、組織の維持発展を目指す、そのような取り組みが必要であるにもかかわらず、足踏みを続けている状態が続いています。」

第6回 労山基金 全国会議 報告

11月15日(日)全国連盟事務所にて題記の会議が開かれ、吉川事務局長、榊原教育部長、半田F洞井会長、計三名が参加してきました。

今回の会議は6月1日施行の労山基金細則改定の説明、「今後の制度設計」についての報告でした。細則改定以外については2021年2月の全国評議員会に提案される予定です。

下記に係る労山山岳事故対策基金及び細則は全国連盟HPで見えますから、確認してください。

労山山岳事故対策基金(労山基金)規程 細則-1の改定(団体の場合)

細則-1の改定は[救助・捜索]について新たに(1)団体の場合が作られ、団体の場合には最大5口(一口2000円)10,000円で300万円から継続10年では400万円の救助捜索費用が交付されるようになりました。

例えば、30人所属の会では、申込口数5口の1万円で300万円～400万円の救助捜索費用が補償されます。100人所属の会の場合でも同様であり、一人当たりの寄付金は100相当となり、これに対して受けるスケールメリットは大きなものがあります。

つまり、個人が労山基金に加入していない場合でも、会・クラブが第2種基金に「団体」に加入していれば、救助捜索費用が補償される制度となりました。また、会・クラブが第2種基金「団体」のみの加入を妨げるものではありません。労山基金規程30条5項により団体においても年2回までの交付となります。

但し、次の救援費用の変更・2項の追加、入通院の給付、海外登山の交付対象のメリットなどを勘案すると、個人の労山基金加入は、ゼロで良いとは限りません。

当然のことながら、遭難事故の当該者が会の山行管理下において、計画書を提出していなかった無届山行の場合には給付の対象外となります。

この改定については、6月1日より適用されています。

細則-9の改定(「救援者費用」の変更)

細則-9に下記の2項が追加されました。

「2.ココヘリ加入者の山岳遭難時に、ココヘリ「捜索要請」の連絡した者の現地への交通費を交付する。ただし1名分とし、遭難者の基金加入口数(11万円、最大10口10万円)を上限とする。」

これは、ココヘリ加入者は、これまでの経験から救助捜索費用が少なく済む可能性が高いので、その分、救援者駆け付け費用を設け厚く手当とするものです。

以下は、来年2月の全国評議員会に向けて検討されている事項で、会議にて説明されました。

第一種基金遭難貸し付け制度の廃止が検討されています。

基金事務推進費の交付先を地方連盟から会クラブとする提案。

現行、地方連盟の口座に送金されている基金事務推進費について、労山基金の清算(寄付金納入)時に、事務推進費を差し引いた額が請求されてきます。

基金各種申請のオンライン化について

会員登録のエクセルファイルに労山基金の新規登録もできるように項目を増やす案を検討されています。

基金各種申請(新規・増し口・継続・移籍)と基金の年度更新の処理をWEB化

できるように検討中です。

事故一報——WEBフォームも可能なようにする。

労山基金の交付申請について、個人情報保護の点から、電子署名などを検討しています。

遭対部 12月11日(金) 52期第4回遭対担当者会議の報告

2020年12月11日(金) 19:30から第4回遭対担当者会議を開き、10山岳会14名が参加しました。【出席者】室岡(じねんじょ)、洞井(半田)、西尾、上原、木戸(くらら)、神谷(ASC)、加藤(ちんぐるま)、高井、山本(春日井)、樋江井(若駒)、廣田(同志会)、谷本、佐藤(あつた)、森(東三河)

議題1. 事故報告 NO.3 クライミングでトップロープでの支点構築中8.5m滑落。【事故発生日時】2020年11月15日(日)

8時【山城・山名】各務原・生木山(生木岩)【事故者】女性 42才【受傷の程度】多発胸椎骨折、仙骨骨折【事故の概要】4名でトップロープの支点構築のため壁の裏側の巻道を登り支点を見つけに行くが見つからず、戻る際に先頭の新人が足を滑らせ滑落。

▲反省・指摘など ・4人で支点を見に行く必要はなかった。・上級者のみで下見を行う

事故報告 NO.4 岩壁での訓練中の転倒【事故発生日時】2020年11月15日(日)14時【山城・山名】各務原アルプス・岐阜権現山【事故者】男性 68才【受傷の程度】右足首打【事故の概要】来年の沢登りに向けた懸垂下降の訓練中、岩に登る感覚を理解するため斜度50~60度、高さ70~80cm岩壁を、2歩程度登り降りる訓練中、着地後に尻もちを着き緩斜面を1回転後転した際に右足首を痛める▲反省・指摘など ・70~80cmの高さでも滑り落ちることは想定していたが、後転することは想定していなかった。・基部が水平な場所を選択する。・後転を防止するためロープを使用する。

事故報告 NO.5 クライミングで滑落。【事故発生日時】2020年12月5日(土)10時頃

【山城・山名】鈴鹿・御在所山【事故者】男性 55才【受傷の程度】左後頭部1cmの裂傷外傷性クモ膜下出血

【事故の概要】御在所中尾根を登りP2取付きで、事故者が1ピンにアブミをセットして登る際に登るのに苦労して、1ピン目にフィフィをかけレスト。再度登り始めた際、アブミから体が外れ、フィフィからも外れ墜落。約4m下にグランドホール。防災ヘリで救助される。

▲反省・指摘など ・アブミを掛けることに意識が集中して支点をセットすることができなかった。・支点をセットしてから、アブミを掛けるのが基本

事故報告 NO.6 下山時に転倒【事故発生日時】2020年12月6日(日)14時【山城・山名】鈴鹿・霊仙山【事故者】女性 35才【受傷の程度】右足首の捻挫

【事故の概要】会山行10名で柏原新道を下山時6合目で最後尾の前を歩いていた事故者が尻もちを着く形で転倒▲反省・指摘など ・入会して間もない会員で山に行くブランクがあった。・10名のパーティーでは、目が行き届かないので二つに、分ける対策が必要。

議題2. 確保技術講習会の取り組みについて

日程は2021年1月25日(月)机上、1月31日(日)実技で行う事について、現在のコロナウイルス感染下の状況からみて、机上講習においては、WEBでの参加できるように取り組んで行うことを確認しました。

積雪期救助訓練のお知らせ

コロナウイルスが収まらない中、全国的に見ると登山が再開されるに従い山岳事故も増えていきます。愛知県連も例外ではありません万が一事故を起こした時、慌てずに救助できるように、皆で勉強しましょう。

机上 2021年1月25日(月)【ところ】県連事務所 19:30~

実技 1月31日(日)【ところ】御在所(積雪の状況により変更することがあります)

申し込み先:各会の理事、遭対担当者を通して、下記へ

県連遭対部長 佐藤和男(電話090-2578-1525か、e-mail k-310-satou@dream.jp まで)

教育部 第52期雪山安全講習会が終わりました

10/26(月)から11/30(月)までの、延べ4日間4講座の雪山安全講習会が、終わりました。コロナ禍の影響もあり、昨年より参加者が減りましたが、なんとか講習会が実施でき、コロナの感染もなく無事終了することができました。

①第52期雪山安全講習会参加状況報告

山岳会名	10/26	11/9	11/16	11/30	合計
半田ファミリー山の会	1	1	1		3
かわせみ	2	1	1	1	5
みどり山の会	2	3	4	4	13
犬山マップ		3			3
名古屋ありんこ山岳会		2			2
名古屋山岳同志会		4			4
合計	5	14	6	5	30

※コロナ禍のため、実技：テント泊は中止。実技：日帰りの参加はありませんでした。

②第52期雪山安全講習会アンケート結果

4講座全て、「講座の内容」「講師の説明」とともに「よく理解できた」「概ね理解できた」という結果でした。コメントの特長として、講座①「冬の装備と生活技術」では、実際の冬山装備が確認できてよかったこと、講座②「冬山の気象」では、外部講師（冬山現役の気象予報士）の方の説明により、気象に興味を持ってもらえたこと、講座③「積雪期の行動技術」と講座④「冬山の危険と安全対策」では、動画による解説がわかりやすいとのコメントを頂きました。（コメントの一覧は表を参照）

月日	講座名	アンケートコメント
10/26	冬の装備と生活技術	<ul style="list-style-type: none"> 資料の小さな文字がつぶれて読めない所があった。 実物の道具も確認でき、有意義な説明会でした。
11/9	冬山の気象	<ul style="list-style-type: none"> 高層天気図の見方がなかなか理解できないのですが、少し今回の説明で理解を深めることができたように思います。 スクリーンが細かく見にくいので、資料があるとよかったと思います。 理解できるのは、なかなかむずかしいです。天気図の見方を教えて頂いたので山に行く時は見るようにしたいです。 500hpaとか700hpaとか聞きなれないところもあり、むずかしかったが、楽しかったです。 面白かったです。 自分で予備知識を蓄える必要があると感じた。 ネットや参考文献で復習しようと思います。
11/16	積雪期の行動技術	<ul style="list-style-type: none"> これからのシーズンに向けて再確認できてよかったです。 滑落停止の動画での解説がよかったです。
11/30	冬山の危険と安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 遭難事故現場の動画が衝撃的で、こうならないように気をつけなければと思いました。

③来期の雪山安全講習会にむけて

今期は、コロナ禍のため実技（テント泊）も中止せざる得えない状況での開催でした。また、開催日程も第3波の時期と重なり、受講生が少ない状況でしたが、熱心に受講していただき、ありがとうございました。

来期も、今期頂いたコメントを反映してさらに充実した講習会としていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

大日ヶ岳交流山行について（教育部）

1. 交流山行の狙い

会議でさまざまなことを話し合うことも大事ですが、県連に所属している各会の教育に携わっている方々、リーダーとして山行を引っ張っている方々が、顔や性格や山の技術の力量をお互いに確認・把握し、親しくなるところから始めていくことが大切であると考え、企画しました



まだまだコロナ禍でありますので、山行後の親睦会等の交流はできませんが、ぜひ、いっしょに山に登り、雪山を楽しみましょう。

2. 集合場所等

①月日：2021年2月7日（日）

②集合場所：高鷲スノーパークスキー場の受付に9:00集合

3. コース等

高鷲スノーパークP ゴンドラ（1回往復・1500円?）

ゴンドラ終点10:00～大日ヶ岳12:00-12:30～ゴンドラ終点14:30

（下山時、時間があれば、ゴンドラ終点付近で滑落停止訓練等を実施）

4. その他

- ・山行計画書の作成等はそれぞれの山岳会で実施し、現地集合／現地解散としますので、よろしくをお願いします。
- ・参加する山岳会（人数等）の確認は1/14の教育担当者会議で行います。
- ・冬山は初めてという方がいた場合、山岳会の枠を超え、教育部のメンバーでフォローしますので、奮って参加願います。

組織部 第6回 組織担当者会議 報告

2020年12月10日(木)

於：県連事務所 午後7時～9時

出席者：あつた（森田）、アリス(大石)、ありんこ（榊原）、犬山（東田）、みどり（杉浦）、春日井（弘中）、かわせみ(白水)、同志会（吉川）、

欠席連絡：くらら（田代）、じねんじょ(森)、スルジェ（杉田）、同志会（樋口・吉田）、

1) 第52期総括と第53期方針(案)について、——(案)方針部分では、組織部の役割や会員拡大の意義などについての基本的な考え方と、それらに基づく方策とに整理して提示し、討議しました。26日の理事会には整理して提出します。

2) 会員拡大等各会交流会の実施報告について、——

報告者、犬山マップ 岡氏、山の会「くらら」吉田会長

理事・役員、7名、会代表等4山岳会、5名 計12名

交流会では、吉田会長より山の会「くらら」での現在の会員数、これまでの会員数の推移、会員拡大の取組み、会の組織体制、各年度の山行実績について、会報誌の発行、会友制度の実施、今後の課題、などについて報告がありました。また、入会問い合わせと会の対応、会員の在籍年数別分

布、年齢構成などについて資料が配布され、説明がありました。出席者からは、山の会「くらら」の定例山行の持ち方とその開催回数の多さに関心が集まりました。山の会「くらら」では例会にて定例山行の場所などを相談し合って決め、それが定例山行の実施回数の増加に繋がり、参加者の増大、会活動の活発化の要因となっていると言えます。

犬山マップからは、連続市民登山教室の継続的な開催が、以前の会員数減少から増勢に転じてきた推進力となってきた経緯の報告がありました。市民登山教室の案内は犬山市の広報に掲載されて広く市民に知られる機会となっているようです。

交流会ではまた、各会より会の会員拡大の現状などが報告され、意見交換しました。今回の目的の一つに各会の交流を深め、お互いに相談などできる関係を作っていくことがありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大第3波の状況のもと、懇親会は予定せず、一部の会代表などの交流に止まりました。

参加者＝犬山マップ・岡、春日井峠・弘中運営委員長、同志会・水越会長・亀井、東三河山ぼ会・森副代表、山の会「くらら」・吉田会長、若駒山岳会・樋江井会長、佐藤理事長、吉川事務局長、東田(犬山マップ)、榊原(ありんこ)、井川財政部長・中根(ふわく)計13名

3) 各会の拡大等の状況

＊一般登山講座受講生より、あつた1名入会。第52期の一般講座を通じての入会者は5名となりました。交流山行12月27日池田山を予定。

＊労山愛知第571号に掲載したように、2000年より約600名の会員減少となっており、改めて危機的な状況を再認識する必要があります。

3)一般登山講座について、現下の新型コロナウイルス感染拡大が収まるには、準備期間・募集期間が不足となるので、第52期同様、秋期に延期します。自然に親しむ公開講座は、昨年と比べて会員の参加が少なかった。これは新型コロナウイルス感染が収まらない状況での結果でないか、という判断で、次回も同様の内容での講座とします。

4)組織力実態調査依頼——会員拡大等各会交流会に提出しました。集約が7山岳会に止まっているので、分析するには不十分です。未提出の会は是非、送付してください。

5)ホームページの件——管理者の分担をしています。労山愛知のアップは井土理事、その他の各会の紹介、取組みの紹介などは、東田理事が担当します。各会で掲載事項の変更などは、東田理事まで送付してください。

6)三重山好会 2月総会にて、山好会として講座持つか意向が出る予定で、これにより県連としての取り組みとなるか判断する。

一般登山講座受講生との交流山行の報告

11/14に一般登山講座の受講生を含めた組織部交流山行を行いました。コロナ禍の影響もあり、受講生2名と榊原(ありんこ)の3名でしたが、天候に恵まれ、また、地図読みとロープワークもして良い山行でした。今回参加の受講生のうち1名、あつたへ入会しました。今後も、受講生をフォローする交流山行をして山岳会への入会へつなげていきたいです。以下、受講生2名の感想です。

・今年にはコロナ禍の為、実技が無くなりましたが、講座で学んだことを実際の山で復習すると、より理解が深まると実感しました。今回の様に少人数で実技を実施するなど工夫することで、感染リスクを減らせたいと思います。これからも学んだことを忘れずに、活用してゆきたいと思います。

・今回ザイル講習が実践できて良かったです。天空岩では楽しく登れたが、久しぶりの岩場でしたので、少し戸惑った。寒さ対策はしていたが暑さ対策はしてなかった。はじめての七宗町でしたので現場



の気温、気候が読めなかった。当日の暑さには参りました。
タオルを奥にしまったまんま登山してしまい、汗が拭けずつらかった。

女性部 女性部便り

女性部会を12月10日(木)県連事務所において、木村(あつた)、田中(若駒)、稲垣(みどり)、服部、下川(くらら)、河村(春日井峠)の5山岳会6名で開催しました。今期の活動については、コロナの感染拡大が止まらない状況下でもあり、女性部として今期の活動は全て中止とすることに決定いたしました。お知らせしておりました、「女性のための安全対策講座 事故事例から学ぶ安全登山」につきましては、来期に開催予定とします。また、山筋ゴーゴー体操についても同様に来期の活動とすることを確認しました。

先号に続いて山筋サポーターの木村さんからメッセージです。

「骨を丈夫に！」「ちょっと滑って転んだら、骨が折れた……」

「ちょっと手をついただけなのに……」

高齢化が進む(?)山岳会で、心配なことの1番は骨粗鬆症による骨折ではないでしょうか。骨密度の低下は、年とともにカルシウム吸収率が落ちるからで、カルシウム摂取と同時に、吸収をサポートするビタミンDや、カルシウムの動きをコントロールするマグネシウムも同時に摂ることが大切です。カルシウム吸収に最も効率よいのは乳製品。ビタミンDについては、卵や、エルゴステロールという、お日様に当てるとビタミンDに変化する物質がふくまれるきのこ類。マグネシウムは、ナッツ類と大豆。逆にカルシウム吸収の敵の1番は、お酒やタバコ(悪玉大王です。)そして何よりカルシウムを骨にするために重要なのが運動です。

【ここから1番大切なこと。】

日頃から「カルシウム+ビタミンD+お日様+マグネシウム」+ジョギングや「山筋ゴーゴー体操」で丈夫な骨を作りましょう。丈夫な骨づくりは誰にでも出来る安全登山への備えです。

「膝痛予防」には「大腿四頭筋を強くしよう！」です。イスに座って、膝を伸ばして真っ直ぐに前に出す。カカトから上にあげる。ゆっくり右足、左足、各10~15回。
ヒマな時や仕事の合間に、またまた寝る前に「やってみよう！」です。

訃報

県連盟自然保護部長 田中 恵 様が2020年12月8日午前7時、享年64歳にてご逝去されました。ここに生前のご厚志に深謝し謹んでお悔やみ申し上げます。なお通夜ご葬儀は過日、ご家族の意向により家族葬にてしめやかに執り行われました。

故人は、2010年6月1日あつた勤労者山岳会に入会され、第46期(2014年)県連盟理事に選出され、第49期(2017年)からは自然保護部長としてご活躍されてきました。ここ数年は清掃登山に対する地元自治体の対応が大きく変わり、非常に困難な交渉などにご奮闘されてこられました。

ここに県連盟を代表してそのご尽力に対し誠心より深謝申し上げると共に、謹んでご冥福をお祈りいたします。

2020年12月20日 愛知県勤労者山岳連盟 理事長 佐藤 和男

【編集後記】編集を終わらせようとしている今日は冬至です。大変だった一年が暮れようとしています。来年が良い年でありますようにと、これほど思ったことはありません。これから日々少しずつ日が長くなっていくように、私たちの暮らしも少しずつ良い方向に向かっていく、そんな年であって欲しい物です。(事務局 井土)

Schedule 2021

1月			2月			3月		
1	金	正月	1	月		1	月	
2	土		2	火		2	火	
3	日		3	水		3	水	
4	月		4	木	女性部会⑪	4	木	
5	火		5	金	遭対担当者会議⑤	5	金	
6	水		6	土		6	土	
7	木	理事会⑬	7	日		7	日	第53期総会
8	金		8	月		8	月	
9	土		9	火		9	火	
10	日		10	水		10	水	
11	月		11	木		11	木	
12	火		12	金		12	金	
13	水		13	土		13	土	
14	木	教育担当者会議⑤ 自然保護部会⑧ 女性部会⑩	14	日		14	日	
15	金	冬山合宿遭対報告会議	15	月		15	月	
16	土	東海ブロック雪崩	16	火		16	火	
17	日	講習会実技	17	水		17	水	
18	月		18	木	組織担当者会議⑩	18	木	
19	火		19	金		19	金	
20	水		20	土		20	土	
21	木	理事会⑭	21	日		21	日	
22	金		22	月		22	月	
23	土	雪山安全講習実技	23	火		23	火	
24	日		24	水		24	水	
25	月	積雪期救助訓練机上	25	木	理事会⑮	25	木	
26	火		26	金		26	金	
27	水		27	土		27	土	
28	木	組織担当者会議⑨	28	日	組織部交流山行②	28	日	
29	金					29	月	
30	土					30	火	
31	日	組織部交流山行① 積雪期救助訓練実技				31	水	

ご意見、ご要望・投稿・写真などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com